

# 2011/12 Weekly Bulletin

国際ロータリー 第2790地区 第3分区B



## 市原ロータリークラブ会報



第2,332回例会 2011年11月09日(水) SAA/三宅 会員 会報担当:上條 会員  
例会場:五井グランドホテル 市原市五井 5584-1 事務局 0438-38-3535

- ☆ 点 鐘 市原RC会長 斉藤 榮志 ☆ ソング 君が代 奉仕の理想
- ☆ お客様 川原 勝壽 2790地区R財団委員長(佐原RC)

### 会長挨拶 市原RC会長 斉藤 榮志



本日はロータリー財団月間に因みまして地区ロータリー財団委員会より川原委員長をお招きいたしまして、財団のお話をさせていただきます。当市原ロータリークラブは100%ポールハリスフェローで、また多くの方がマルチプルポールハリスフェローとなつていられるということからも分かるように財団の奉仕活動には理解を持っている方のクラブではないかと思ひます。そのようなクラブのメンバーでであっても勉強不足からその理解度はまだまだ十分とは言えませんが、3,4年ほど前に外立前地区財団委員長にお越しいただいての卓話で、年次寄付、恒久基金寄付、用途指定寄付等の寄付の仕方とその運用方法について大変分かり易いお話をいただき、その面での理解は深まったのですが、財団のプログラムや補助金プログラム等の実際にどのような奉仕活動にお金が使われているかの情報については十分ではありません。過日地区財団セミナーに出席して川原委員長のお話をお聞きした感触では、本日はそのあたりのことを中心にお話していただけて、我々が財団の奉仕活動を十分納得して気持ちよく寄付が出来る様にさせていただけると期待しております。

### 幹事報告 幹事 山本 順也



- ・ 本日理事会にて12月プログラム承認になりました。第2週目が忘年例会になります。
- ・ マレーシア、PJより5名の学生プロフィールが送られてきました。滞在期間は11月25日～12月4日(10日間)の予定です。国際奉仕委員会にて現在受入準備を進めていますので、皆様のご協力をお願いいたします。

### 委員会報告

#### 1 始関会員

各テーブルに「ぐるぐる京葉」というパンフレットを置かせていただきました。これは先に閣議決定されました「民が民を支える構築モデル事業」として千葉県が進めているものでして、市原RCにも参加要請がありまして、私が出席しております。各地でNPO法人が地域のボランティアのために活躍しております。現在の課題は法人企業の会員を如何に募っていくかとゆう問題です。皆様にも趣旨をご理解頂きまして、積極的にご参加くださいますようお願い申し上げます。

千葉県 県民活動促進事業「民が民を支える仕組み構築モデル事業」

**ぐるぐる京葉**

地域で頑張っている NPO からのメッセージ!

**関口幸一さん (NPO法人ほびあ・袖ヶ浦市)**  
私達は今、スーパーがなくなって困っているのぞみ野というところに、地域コミュニティーを兼ねてお店を作ろうとしています。高齢者のための移動販売や無料配達、無料送迎も考えています。障がい者雇用も目的の一つで、品出しや掃除、レジ、配達まで担当してもらう計画です。資金が5千万円以上かかります。皆さんの応援があると借入が少なくなり、それだけ実現性が高くなります。皆様の応援よろしくをお願いします。

**小松あや子さん (NPO法人ハートケアあーあー千葉市)**  
はーとやのパン(精神障害者共同作業所)とハートケアセンターちば(地域活動支援センター)の運営を通して、障がい者の就労支援を行っています。通所の方の8割は精神障害者です。多くの方が障がいの暮らし、働き方に関心を持っていただければと思っています。おいしいと評判の、はーとやのパンをぜひ一度ご賞味ください。

**深谷みどりさん (たすけあい「辰巳ねこの手」・市原市)**  
自家用車がほしい! 「住み慣れた地域でずっと暮らしたい」、この願いの実現のため、社会福祉協議会の中に作った有償サービスを提供する団体です。会員は約250名。年間約1500時間稼働。仕事は家の中の掃除、庭の草取り等日常生活を支えるものです。最近、買物がしたい、買ってきてほしい等のニーズが多くなりました。自立した生活を維持するためには自分の目で見えて買物をするのは大切です。この支援のため車が不可欠!

「寄付することで社会に役立ちたい」  
「地域の団体に、不要になった什器を提供したい。空きスペースを活用してほしい」  
「高齢者の暮らしの手助けをしたい」「豊かな里山の自然を残したい」  
「地域の役に立つことを企業として取り組みたい」...と思ったら  
『ぐるぐる京葉』へ

**お電話ください**  
NPO法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ(NPOクラブ)  
〒261-0011 千葉市美浜区真砂5-21-12 TEL043-303-1688  
FAX 043-303-1689 E-mail npo-club@par.odn.ne.jp  
[www.guruguru-ky.com](http://www.guruguru-ky.com)  
民が民を支える仕組み「ぐるぐる京葉」の目的、事業内容を掲載します。  
2011年11月以降には、支援を希望する団体の事業を紹介いたします。

### 委員会報告

- ② 津留・地区新世代奉仕委員長  
11月6日の地区大会へ市原RCがホストします市原中央高校インターアクターを大勢参加させていただき、感謝しております。ありがとうございました。
- ③ 齋藤(榮)会長  
12月7日に次年度理事役員選挙のための年次総会を予定しておりますが、その候補者の立候補受付を告示させていただきます。立候補を希望される方は幹事までお申し出ください。2週間以内に立候補者が定員に満たない場合は次年度理事役員指名委員会を設けまして、候補者を次回理事会へ推薦し、理事会にて原案を作成した後、12月7日の総会で決定したいと考えております。

### メインプログラム



宅話 川原 勝壽  
2790地区R財団委員長(佐原RC)

#### 「ロータリー財団について」

今年11月号のガバナー月信に「群れない、慣れない、頼らない」という題目で寄稿させていただきました。これは93歳になります画家・堀文子さんのお言葉で、大変感銘を受けました。ロータリアンはそれぞれに個々のロータリー感を持たねばならないと思うのです。100人のロータリアンが居れば、100通りのロータリー感があつて良いのです。ロータリー財団の寄付に付きましても、請われて寄付をするのではなく、自分の意思で寄付をして欲しいのです。ある友人が毎週\$100のR財団寄付をしてくれます。彼がある時に私に言いました。寄付を続けていると心が豊かになると言うのです。寄付することに意義を見つけて、自らの意思で寄付をしていただきたいのです。そうすると心が豊かになります。ロータリー財団はそのお手伝いをしているに過ぎないのです。私は大分県出身ですが、大分県の奨学金で大学を卒業しました。その恩返しの意味でロータリー財団へ寄付を続けています。私の受けた恩を次の世代の若者へ申し送りしたいと思うのです。1905年2月23日にシカゴでロータリーは誕生しました。

### メインプログラム

その12年後の1917年にロータリー財団が出来ています。ギャングがはびこる殺伐としたシカゴで、信頼できる友達が欲しくて助け合いをするロータリアンの中からR財団は出来たのです。1923年の34号議案(決議23-34)で、寄付は強要してはいけないことが制定されるのです。

ロータリー財団の寄付は3種類あります。年次寄付は3年前の地区の寄付の50%が地区で財団活動資金として使つて良いことになっています。恒久基金はRIで運用して、その運用益の半分が、地区へ降りてきます。もうひとつはポリオ資金です。ポリオ完全撲滅にあと一步のところまで来ています。幸せなあなたに! 世界で良いことをするために、幸せのお裾分けを!